

関西美容専門学校

2023年4月 ~ 2024年3月 自己評価結果報告書

評価点数定義

- | | |
|---|-------|
| 4 | 適切 |
| 3 | ほぼ適切 |
| 2 | やや不適切 |
| 1 | 不適切 |

1.教育理念・目標

評価項目		採点	現状	課題・改善案
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	学園理念である「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」を体現すべく、「人間力」「基本力」「創造力」「感動力」をコンセプトとし、カリキュラム・授業内容を組み立てている。	
2	学校における職業教育の特色は何か	4	特色としては、日本美容界の巨匠である川島文夫氏を顧問とし、基礎基本を土台とした現場に即したカット技術を取り入れ「カットの関美」と呼ばれる学校になる等、選ばれる学校づくりを行っている。	
3	社会経済の二一ズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	3	コロナの影響によって社会全体の経済が停滞し学校の行事・イベント等も中止・延期が続き学生同士の交流や技術交換、関美学園としての文化の継承に問題が出てきていたが、2023年は完全に通常の状態に戻り、中止や縮小していた行事・イベントもコロナ以前のように再開することができた。 業界でもオンラインセミナーや、オンデマンドでの技術学習を取り入れられつつある状況を踏まえ、美容師向けオンライン学習サービスを取り入れ、希望者に対してシヤンプーレッスンを行った。授業での活用や、授業外での学生の主体的な利用などに課題はあるものの、オフラインもオンラインも含め学生に学びの選択肢をより広くなるよう進めていく。 選択科目に関しても、学生の要望やサロンで活かせる技術に対応するように、内容を刷新・改善をした。	少子高齢化、美容室の増加と美容学生の減少からくる雇用難を踏まえ、国家資格取得に必要な技術は基本として、常に現場で求められる技術、心を学生に教育、就職のサポートができるよう、全国の企業・サロンと連携し変化し続ける学校であり続けようとしている。 また、今後の社会のDX化、小中学校から始まっているGIGAスクール構想が進むにつれ、専門学校も対応が必要となるため、その対応も今後の課題とする。

2. 学校運営

評価項目		採点	現状	課題・改善案
1	目的に沿った運営方針が策定されているか	4		
2	運営方針に沿った、事業計画が策定されているか	4		
3	運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか	4	運営方針・事業計画は校長がこれを作成し、全体会議等で周知徹底している。学校運営組織は、校長をトップに副校長、教務部がこれを補佐する形で運営されている。人事、給与については就業規則並びに諸規定によって規定されている。	
4	人事、給与に関する規定などは整備されているか	4		特になし
5	教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4		
6	教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	4		

3.教育活動

評価項目	採点	現状	課題・改善案
1 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか	4	「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」という教育理念のもと、すべての教職員の意識統一がなされている。美容師免許取得は当然の事とし、社会に出て即、役に立つ人材の育成に努めている。	
2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえて学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	カリキュラムにおいては毎年同じ事をするのではなく美容業界、社会の流れをよみ各部署でその都度何が必要か話し合いを重ね、細かく見直しなどを行っている。選択科目や希望者対象の講座などがあり、より実践的な技術や知識が身につく教育を行っている。	感染対策に関して、5類移行に伴いマスクは自由になり、検温などもなくなった。昼休みの外出も再開し学生達のキャンパスライフもコロナ禍以前に戻ってきた。また出席停止などの特別措置もなくなった。
3 カリキュラムは体系的に編成されているか	4	授業評価については学生にアンケートを実施しており内容によって見直しを行い教職員の意識向上、学生の満足度向上に努めている。	授業は勿論、インテリジェンスセミナーをはじめ各種セミナーは、ほぼコロナ禍前と同様になり、学生の学習意欲や満足度が高まった。
4 美容業界の連携によりカリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4	外部関係者からの意見は柔軟に取り入れ、その都度検討し必要と判断する内容などは採用するようにしている。	選択科目のカットではコンテスタスタイルからメンズカットに変更し、今の美容業界の流れや学生のニーズに沿ったものになった。
5 美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4	成績評価については3学期制をとっており、学期ごとに試験を行い各教科・科目の評価、欠席日数管理をし、進級・卒業判定は明確に定めている。	外部関係者からの評価の部分では、毎年関係者評価をさせていただき意見、評価を取り入れることできてきている。
6 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	美容師国家資格取得は全学生の当然の目標である。その他、各資格については希望者対象に選択科目や検定対策を行い全員合格を目指している。	
7 職業教育に対する外部関係者からの評価を取りいれているか	4	常勤講師についてはキャリアが多彩で本校のカリキュラムに適した能力を備えた人材を確保しており、その他非常勤講師においても技術や学科のさまざまな各専門分野のプロの講師を採用している。	
8 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	4	美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	
9 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか	4	職員の能力開発のための研修は行われているか	
10 人財育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4		
11 美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	4		
12 職員の能力開発のための研修は行われているか	4		

4. 学習成果

評価項目	採点	現状	課題・改善案
1 就職率の向上はなされているか	4	毎年就職希望者の就職率はほぼ100%に近い。基本的には学生主体の就職活動である。就職担当や各担当が面談を行い、個人単位で把握し、内定までを丁寧にサポートしている。本年度は変わらずコロナ禍での就職活動となったが、就職率は98%とほぼ全員の学生に内定をいただいた。	美容師資格については94.3%と昨年よりも下回った合格率だった。実技、学科共に不合格者は前回より多くなった。今年度の結果をうけとめ、さらにより多くと対策を行い全員合格を目指したい。
2 美容師資格の取得はなされているか	4	美容師国家資格においても毎年90%を超える高い合格率である。国家試験前には対策授業を行い100%に向けて指導方法の見直しを常に行っている。	
3 その他美容関連の資格取得はなされているか	4	その他の美容関連の資格については希望者対象に対策授業を行っている。	
4 退学率の低減が図られているか	2	退学率の低減については担当が各学生の事を把握し、教職員の間でも連携をとって共有を細かく行っている。また欠席など問題点があれば学生、保護者と連絡をとり解決を図っている。	退学者に関しては昨年度とほぼ同じ人数だった。兆候があれば連携をとり、早めに気づいて対処が出来るようにしていきたい。
5 卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか	4	卒業生とのつながりは深く、同窓会や各行事などに呼びかけ常に把握に努めている。またキャリアマップシステムを使い学校からの情報を速やかに共有していきけるようにしている。今年度もコロナの影響もあり同窓会などの行事もできず卒業生を関わる機会が減った。	
6 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3		

5. 学生支援

評価項目		現状	課題・改善案
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	就職部が主となり1年生のうちから就職にむけての授業などをとりいれ、2年に進級後は各担任との面談を行い個人の進路について指導している。個人個人の相談に関しては各クラスの担任や学年主任だけでなく教職員全員で適宜うけている。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	経済的支援体制については日本学生支援機構奨学金制度、国の教育ローン制度のほかに、本校独自の学費免除特待生制度も設けており支援を実施している。一人暮らしの学生に対しての支援も奨学金機構からの支援があり新たに行なった。
4	学生の健康管理の支援体制は整備されているか	3	健康管理については年一回の健康診断を行っている。
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	本校の課外活動とは外部のコンテストなどが主であり、技術指導や引率等の支援体制は充実している。外部のコンテストは従来のように開催している。学校イベントはクリスマスパーティーを再開し、ほぼコロナ禍前と同じように無事に開催できた。
6	学生の生活環境への支援体制はあるか	3	生活環境の支援については提携している不動産会社より学生マンションの紹介を行い遠方の学生の支援体制としている。
7	保護者と適切に連携しているか	4	保護者には学期末成績表の送付をはじめ、年間行事予定表などの案内をその都度通知している。また、欠席が目立って多いなどの場合、保護者との面談を行っている。
8	卒業への支援体制はあるか	4	卒業に向けての単位取得、校内実技試験、校内筆記試験において不足が認められた場合は補習という形をとり、補い、卒業に向けて対応している。
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	9割以上の学生が高校新卒生のため、社会人に対しての特別な環境や制度は設けていないが、社会人、新卒生等しくを教育を受ける事が出来る。

健康管理の面においては発熱や体調不良などがあれば必ず連絡をもらい早期に対処している。

今年度も心の悩みを訴える学生が多くみられた。心理カウンセラーへの相談も活用しながら、学生の心の悩みの軽減を目指す。

入学生の9割強が新卒生のため、社会人対象の入試や制度等は特別設けておらず、社会人のニーズを踏まえた教育環境は未熟などところがある。しかし社会人、新卒生平等に受け入れをしており、教育も等しくしている。

6.教育環境

評価項目		採点	現状	課題・改善案
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3	施設・設備は学習環境に影響がないように学生や教員の意見をとり入れ、整備をしている。 今年度は春休み期間中にエアコンの全館改装を行った。	
2	学校外の実務実習、インターンシップ、海外研修などの実施の体制は整備されているか	3	学外研修サロンでの実務実習を恒常的にを行い、コンテンツ等にも意欲的に参加し結果を残している。 関西コレクションに年間2回参加、海外研修はイギリス、フランスの2回。イギリスのSASSOON研修は選抜を行い、今年度は7名参加。フランスは希望者対象で行った。 インターンシップ等は教育内容の平均化を鑑み取り入れていない。	現地の物価高騰、円安などもあり、旅費が高くなっており、フランスへの海外研修を隔年にし、学生の希望が多く参加しやすい韓国研修を来年度から予定。
3	防災に対する体制は整備されているか	3	避難経路の確認等を行った。	

7.学生募集

評価項目		採点	現状	課題・改善案
1	学生募集活動は適正に行われているか	3	<p>入学案内書及び募集要項を毎年作成し、月2回はオープンキャンパスを開催し募集を行っている。</p> <p>コロナ禍や遠方の参加者のためオンラインオープンキャンパス等を行っていたが、昨年度から参加者が減少し、今年は開催しない日が増えた。</p>	<p>学校理念・コンセプト・教育成果などを積極的に伝えており、大半の学生が入学後のアンケートでもギャップを感じていない。例年に引き続き学期末のアンケート結果が良く、ほぼ全ての学生が満足している結果となった。</p>
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	3	<p>HPでの紹介、オープンキャンパス等での学校説明により、教育成果を正確に伝えるよう努めている。また、高校生自身が主体的に自分で考え選んで進路を決定できるような声かけ等、徹底させている。</p>	<p>来年度は一旦18歳人口は増える年だが、4年後以降の大きな減少や18歳人口70万人台の時代に向け備えていきたい。</p>
3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	3	<p>入学選考はAO入試・推薦入試、一般入試を行い、面談官に対してはアドミッションポリシーの共有や、採点ポイント等の共有などを毎年行っている。適正・公平を保っている。</p> <p>オンライン面談を引き続き実施している。</p>	<p>オンラインオープンキャンパスは夏休みや春休み、AO入試直前など要望が多くなるタイミングのみの限定開催を予定。</p>
4	学納金は妥当なものになっているか	3	<p>人件費や維持費、教材費などの高騰が続き、学費を上げざる負えない状況になっている。また、募集要項に記載されている学費以外は極力かからないようにしている。</p>	

8. 財務

評価項目	採点	現状	課題・改善案
1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4		
2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	会計士・税理士・監事により適正に実施している。	特になし
3 財務に関する会計監査は適正に行われているか	4		
4 財務情報公開の体制整備はできているか	4		

9. 法令などの遵守

評価項目	採点	現状	課題・改善案
1 法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4		
2 個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4	専門学校設置基準に基づいて、適正に運営を行っている。個人情報に対しては、充分に注意し、教職員はもちろん学生にも指導している。	昨年度自己評価、関係者評価の公表を行い引き続き公表を続けると共にすべてでばならないが昨年挙げられた問題点に対して改善を取り組んだ。
3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3		
4 自己評価を公開しているか	4		

10. 国際交流

評価項目	採点	現状	課題・改善案
1 留学生の受け入れ派遣について戦略を持っているか	1	留学生の受け入れや派遣は、現在特区政策が進められているが、特区以外は美容師としての就職先が安定されないため意欲的に実施していない。	
2 学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	3	1985年以降30年フランス国立のリセ・エルザ・ル・モニエと姉妹校提携しており、学園として交流を行い、国を超えた取り組みを行っている。また、イギリスササーンアカデミーへの校費留学でのディプロマの取得を行っている。	海外姉妹校やSASSOON研修を従来通り行い、来年度から韓国研修も予定する。